

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日	1月 ~21日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	3	6	5
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	4	12 (2)	14
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	0	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	2	2	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	3	1	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1	5	2

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第3週(1月15日~1月21日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4	1		1		1		1
三類	2	腸管出血性大腸菌	2					1		1
四類	1	レジオネラ症	1	1						
五類	11	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1		1					
		急性脳炎	2			2				
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1				1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		百日咳	1		1					
		梅毒	4					3		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 6年3週(1月15日～1月21日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり13.14人の報告があり、前週の約1.4倍に増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が16件報告されています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第3週 A型:48人、B型:36人

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

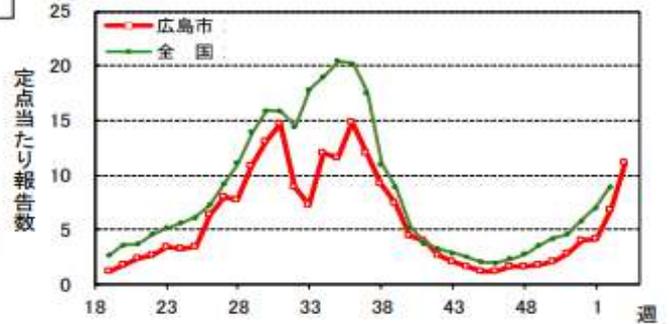
定点当たり11.14人の報告があり、前週の約1.6倍に増加しました。

高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクも高まります。手洗い、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。また、寒くなると窓を閉め切った屋内で過ごすことが増えるので、「換気の悪い密閉空間」にならないよう、こまめに換気をしましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり10.74人の報告があり、前週の約1.7倍に増加しました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況(2023～2024年)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減							
												増減	微増減								
インフル	インフルエンザ	473	13.14	13.73	↑	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.09	↑	↑	報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。								
	新型コロナウイルス(COVID-19)	401	11.14		↑		流行性耳下腺炎	-	-	0.06	↑	↑									
小児科	RSウイルス感染症	2	0.09	0.18	↑	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	↑	↑	<table border="1"> <tr><td>インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)</td><td>36</td></tr> <tr><td>小児科定点数</td><td>23</td></tr> <tr><td>眼科定点数</td><td>8</td></tr> <tr><td>基幹定点数</td><td>7</td></tr> </table>	インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36	小児科定点数	23	眼科定点数	8	基幹定点数	7
	インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36																			
	小児科定点数	23																			
	眼科定点数	8																			
	基幹定点数	7																			
	咽頭結膜熱	50	2.17	0.14	↑	流行性角結膜炎	13	1.63	0.23	↑	↑										
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	2.83	0.90	↑	基幹	細菌性髄膜炎	1	0.14	-	↑	↑									
	感染性胃腸炎	247	10.74	6.57	↑		無菌性髄膜炎	-	-	-	↑	↑									
	水痘	11	0.48	0.08	↑		マイコプラズマ肺炎	-	-	-	↑	↑									
手足口病	4	0.17	0.23	↑	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		-	-	-	↑	↑										
伝染性紅斑	-	-	0.18	↑	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	-	↑	↑										
突発性発しん	2	0.09	0.31	↑						↑	↑										

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	1	50歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	20歳代・O157
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	70歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2	10歳未満
5	梅毒	3	4	20歳代・3人